

# 一般社団法人 日本美術家連盟

## 平成25年度情報公開

1	平成25年度事業報告	2
2	平成25年貸借対照表	8

# 平成25年度事業報告

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

## ❖ 調査研究に係る事業

### 1. 研究事業及び提言事業

#### (1) 著作権の関係機関・団体との活動

- ①日本美術著作権機構(APG-Japan)、日本美術著作権連合、日本著作者団体協議会、著作権情報センター、日本複製権センター等、著作権の関係機関・団体の活動に協力し、当面する著作権問題についての情報を収集、研究した。
- ②文化審議会著作権分科会、デジタル時代の著作権協議会研究会、国立国会図書館資料デジタル化と利用に関する関係者協議会、出版物の流通促進に向けた契約の在り方に関する検討会に参加し、美術家の立場から種々の意見を具申した。
- ③著作権者不明の場合の現行裁定制度を再検討するにあたり、著作権分科会法制問題小委員会が行ったヒヤリングに応じ、美術分野の著作権所在情報提供の現状について説明した。
- ④著作者団体5団体とともに、「特定秘密保護法案」の廃案を求める声明を発表した。
- ⑤電子書籍と出版文化の振興に関する議員連盟のヒヤリングに応じ、電子書籍に関わる出版社への権利付与につき、著作者の立場からの意見を伝えた。
- ⑥文化庁より「出版社への権利付与」に関する法改正に関わる説明を受け、内容をもとに今後の対応につき関係団体と協議した。
- ⑦国立国会図書館より「有償オンライン資料収集実証実験事業案」につき説明を受け、意見を述べた。

#### (2) 美術著作権情報の収集・提供の研究

効率的な情報提供のために著作権所在情報関係データベースを改訂した。

#### (3) 文化芸術推進フォーラムに参加し、著作者団体、実演家団体等と文化芸術振興のための施策、環境整備、並びに文化省の設立の可能性につき協議研究した。

#### (4) 会員情報のデータベース化に関わる研究を行った。また、外部への会員情報の提供については、今後APGデータベースの内容の見直しを検討していくこととした。

#### (5) 義務教育における美術教育の実態の調査研究

- ①文部科学省初等中等教育局より調査官3氏を招き、義務教育課程における美術教育の現状と今後の見通し、美術家連盟の果たすべき役割等につき、連盟委員との間で意見交換を行った。
- ②美術教育の現状を調査・研究するため、下記記事を連盟ニュースに掲載した。  
・「目と眼」(崎本卓氏 446号)

#### (6) 技法材料の研究

技法材料に係る調査・研究のため、「修復家から見た現代作家への提言」をテーマに下記記事を連盟ニュースに掲載した。

- ・修復家 吉村絵美留氏と美術家 小作青史氏の対談(447号)
- ・インタビュー 絵のお医者さん岩井希久子の提言(448号)

#### (7) 郷倉和子、宮崎進両氏にインタビューを行い、連盟ニュースに掲載した。(446・448号)

#### (8) 国立新美術館館長・青木保氏と山本理事長の対談を実施し、連盟ニュースに掲載した。(449号)

## 2.美術関連資料の収集と提供

図書、雑誌等を収集し、図書30冊、図録等48冊、雑誌60冊を収集した(寄贈含む)。

### ❖ 情報発信に係る事業

#### 1.インターネットによる情報提供

- ①連盟ホームページの運営により、沿革、組織構成、入会方法、貸室・貸画廊案内、著作権管理、各種団体展、会員個展等の情報を提供した。
- ②美術・写真・グラフィックアートの分野3団体で構成される日本美術著作権機構(APG-Japan)によって運営されるAPGデータベースを通して、作品画像及び著作権情報を広く一般に提供した。

#### 2.機関紙の刊行・頒布事業

「連盟ニュース」を年4回刊行し(446号～449号)、会員、美術館、美術団体、関係組織、報道機関等に頒布した。

#### 3.各種契約書の改訂版作成準備

会員の便宜を図るため、契約ひな型「屋外モニュメント制作委嘱契約書」を作成した。

### ❖ 普及・啓蒙に係る事業

#### 1.国際交流事業

##### (1) 国際美術連盟(IAA)加盟団体としての協力事業

- ①2013年6月5日～7日、パリのユネスコ別館で開催されたIAA執行委員会に日本委員会委員長の入江観氏が出席した。同執行委員会では、IAA会費算定方式、IAAカードの印刷サービス、世界アートデーの取り組み等について協議された。(連盟ニュース448号「IAA執行委員会報告」参照)
- ②IAA常任委員会を開催し(2013年10月、2014年3月)、日本委員会の活動方針、世界アートデーの催し物企画等について協議した。
- ③韓国美術協会(KFAA)の理事長Cho Kang-Hoon氏と事務局長Jun Jung氏が、KFAAのIAA再入会について日本委員会の支持を求めため2度に亘って来日したので(2013年12月、2014年2月)、入江観氏が両氏を歓迎するとともに、KFAAの組織の現状、活動状況等について話し合いを行った。これを受けて後日、日本委員会はKFAAの再入会をIAA本部に推薦した。

##### (2) 文化庁の新進芸術家研修員制度への協力事業

文化庁の依頼により、新進芸術家海外研修員の応募者を募り、申請を受け付けたところ、3名が内定した。

##### (3) 美術家の国際展、国際コンペ等への参加斡旋事業

下記の国際展の応募要領を会員に周知した。

##### 連盟HP

- ①第4回レッセドラ国際ペインティング&ミクストメディアコンペティション：ブルガリア  
2013年12月11日～2014年3月21日
- ②第13回レッセドラ国際小版画展：ブルガリア 2014年6月11日～8月31日

#### 2.セミナー・講習会等事業

##### (1) 技法材料研究講座を下記の通り開催した。

#### ア)公開講座「絵画材料と絵画技術」(講師:佐藤一郎氏)

第1回 講義「絵画の心得」4/13 東京藝術大学第一講義室 参加者136名。

第2回 講義「油絵具の本性」5/18 東京藝術大学第一講義室 参加者141名。

第3回 講義「光と色と絵具」6/15 東京藝術大学第一講義室 参加者129名。

第4回 講義「媒材と顔料」7/13 東京藝術大学第一講義室 参加者125名。

第5回「画材シンポジウム」8/3 銀座会議室3丁目 参加者87名。

第6回「日本画材工業工場見学」9/6 福島県岩瀬郡鏡石町・日本画材工業本社 参加者36名。

第7回「クサカベ工場見学」10/4 埼玉県朝霞市・クサカベ本社 参加者19名。

第8回「ホルベイン工業セミナー」11/2 東京藝術大学油画技法材料研究室 参加者24名。

第9回「松田油絵具工場見学」11/22 埼玉県狭山市・松田油絵具工場 参加者20名。

第10回「地塗り実習I」12/14 東京藝術大学油画技法材料研究室 参加者38名、「地塗り実習II」12/21 東京藝術大学油画技法材料研究室 参加者39名。

#### イ)公開講座「タブローとしてのフレスコ画制作会」(講師:金森良泰、大野彩、鈴木朝湖、小作青史 諸氏)

第1回 9/12 美術家連盟画廊 参加者20名。

第2回 12/9 美術家連盟画廊 参加者17名。

#### ウ)公開講座「ウォーターレスリトグラフ講座」(講師:星野美智子、小作青史両氏)

第1回 10/12 美術家連盟画廊 参加者 26名。

第2回 1/18 美術家連盟画廊 参加者 24名。

#### (2) 美術家連盟新会員奨励展の開催

第7回美術家連盟新会員奨励展を2013年5月27日から6月1日まで美術家連盟画廊において開催し、美術家17名の作品17点を展示、紹介した。

#### (3) 地区活動

北海道、北陸、信越、東海、近畿の各地区により下記活動が実施された。

##### ア)北海道地区

・日本美術家連盟 北海道地区展「アーティストによる広げる表現展」(8月13日～18日)大丸藤井セントラル スカイホール 作品40点 参加者25名。

##### イ)北陸地区

・第4回一般社団法人日本美術家連盟 北陸地区会員展「富山 福井 石川」(4月12日～15日)富山県民会館美術館 作品65点 参加者63名。

##### ウ)信越地区

・「第12回 日本美術家連盟信越地区 新潟・長野会員展2013」(6月25日～30日)新潟県民会館3Fギャラリー-B 作品27点 参加者25名。

##### エ)東海地区

・第8回 白川郷芸術祭(10月1日～14日)白川郷、荘川の里、五箇山和紙の里 参加者45名。

##### オ)近畿地区

・日本美術家連盟 全近畿地区会員展「きのうとあすの対話」II(5月30日～6月9日)兵庫県立美術館王子分館 原田の森ギャラリー 参加者349名。

#### (4) 後援・協賛名義使用

下記の展覧会を後援した。

- ・国際書画大賞展実行委員会主催「第8回国際書画大賞展」
- ・日本建築美術工芸協会主催2013aaca景観シンポジウム「21世紀の歌舞伎座と銀座」、  
aaca25周年記念景観シンポジウム「明治神宮と原宿」
- ・フレスコ展 実行委員会主催「第2回 フレスコ展 2013」

### 3.相談事業

- (1)一般からの著作権に関わる相談に応じ、著作権所在情報の提供を行った。
- (2) 美術作品の販売契約、広告、輸送その他の問題に関わる相談に応じた。
- (3) 法律顧問の援助を得て、会員に便宜を図った。
- (4) 税務顧問の援助を得て、税務相談につき会員の便宜を図った。  
物故会員遺族の要請で、相続申請の際に必要な遺作の評価証明作成につき支援した。
- (5) ライツ法律事務所の協力のもと、低廉な料金で法律相談を実施した。

## ❖ その他事業

### 収益事業

#### 1.著作権代理業務

著作権管理委任契約約款に基づき、国内作家の著作権者の代理として、美術作品の著作権使用に係る許諾契約を締結し、著作権使用料の徴収・分配等、処理業務を実施した。

著作権処理件数 229件 著作権手数料収入 3,692,154円

#### 2.貸室・貸画廊

会議室、アトリエ及び画廊を賃貸し、会員、美術団体等の利用の便を図った。

貸室：59団体、貸画廊：17作家・団体 20会期 貸室・貸画廊収入 12,009,508円

### 共済事業

#### 1.見舞・弔慰

内規に基づき下記の通り実施した。

(病氣・負傷見舞 44件 730,000円)+(長期療養見舞 54件 172,800円)+(弔慰 99件 2,890,000円)=合計197件3,792,800円

#### 2.保険斡旋

##### ①文芸美術国民健康保険組合の加盟団体となり、会員の加入斡旋を行った。

文芸美術国民健康保険組合 61加盟団体被保険者12,202名(うち連盟関係776名)、保険給付状況：件数170,116件(前年度末161,906件)、組合負担額1,858,775,636円(前年度末1,715,073,750円)。

組合員は、医療費負担の他、出産育児一時金、葬祭費の支給、また人間ドック等特定健康診査・特定保健指導について補助を得た。

※保険料(月額)は次の通り。イ)医療保険分 組合員12,300円 家族一人当たり4,500円。ロ)後期高齢者支援金分 組合員2,800円 家族一人当たり 2,800円。ハ)介護保険分 第二号被保険者(満40～64歳)3,300円。ニ)特例組合員分(75歳以上) 特例組合員 1,000円。

##### ②美術家所得補償保険、がん保険の加入斡旋を行った。

### 3.会員管理・会費管理

- ①会員台帳及び会費台帳の管理を行った。

②会員名簿・便覧2014-2017年分を刊行し、全会員に対し頒布した。

#### 4. 展覧会入場優待

会員証による各種美術団体、各種展覧会等への入場優待及び割引入場の便宜を図った。

#### 5. 特約画材店

特約画材店を指定し、各地域における会員の画材の割引購入の便を図った。

#### 6. 優待協力画廊

優待協力画廊を指定し、会員の作品発表の会場確保の便を図った。

#### 7. 会員談話室

会員とその関係者が、協議、懇談するスペースとして、会員談話室の利用を提供した(喫茶サービスあり)。

#### 8. その他

銀座伊東屋発行カードにより商品の割引優待を受けた。

### ❖ 会員、役員等及び運営の状況

#### 1. 会員等の現在数(2014年3月31日現在)

正会員：5,287名(前年5,315名)

(部門別 日本画部：390名、洋画部：3,924名、版画部373名、彫刻部：600名)

年度中入会：164名、

物故者：92名、退会者：100名、

準会員：777名、

賛助会員：6名(個人2名、法人4名)、顧問：6名。

#### 2. 役員、委員及び職員

理事：20名(内 理事長1名 常任理事3名)、監事：2名、

委員：70名(兼IAA日本委員会委員)、

職員：5名(内 事務局長1名)、嘱託：1名。

#### 3. 各種小委員会

入会申込選考委員：19名 明治以降美術の業績調査委員：11名

技法材料研究委員：14名 著作権委員：13名

ニュース編集委員：17名 美術教育に関する研究委員：12名

IAA常任委員：11名

#### 4. 各種会合

総会：1回

理事会：11回

常任理事会：2回

地区代表委員会：1回

委員会：11回

ニュース編集委員会：11回

入会申込選考委員会：3回

IAA常任委員会：2回

著作権委員会：1回

技法材料研究委員会：2回

美術教育に関する研究委員会：2回

選挙管理委員会：2回

## 5.外部団体・委員会等への参加

文芸美術国民健康保険組合：理事長1名 監事1名

著作権情報センター：理事1名 監事1名

日本美術著作権機構：会長1名 理事3名

日本美術著作権連合：理事3名 監事1名

日本著作者団体協議会：理事団体 監事1名

デジタル時代の著作権協議会(CCD)：監事1名

文化芸術推進フォーラム：構成団体、文化庁文化審議会著作権分科会：臨時委員1名

CCD各種研究会：委員2名

日本複製権センター：運営委員1名

国立国会図書館資料デジタル化と利用に関する関係者協議会：協議員1名。

# 平成25年度貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I. 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	189,829,076	184,515,198	5,313,878
売掛金	0	860,225	△ 860,225
未収金	1,232,756	174,405	1,058,351
商品・貯蔵品	4,867,403	4,867,403	0
貸付金	0	665,000	△ 665,000
流動資産合計	195,929,235	191,082,231	4,847,004
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	20,000,000	20,000,000	0
(2) 特定資産			
新会館建設引当資産	280,000,000	280,000,000	0
職員退職給付引当資産	24,895,000	24,895,000	0
特定資産合計	304,895,000	304,895,000	0
(3) その他固定資産			
土地	65,160,360	65,160,360	0
建物	40,764,706	40,764,706	0
同減価償却累計額	-34,094,829	-33,852,917	△ 241,912
建物付属設備	22,939,241	22,939,241	0
同減価償却累計額	-17,389,447	-16,531,511	△ 857,936
器具・備品	7,230,202	7,230,202	0
同減価償却累計額	-6,985,466	-6,802,642	△ 182,824
電話加入権	146,484	146,484	0
ソフトウェア	25,454	47,907	△ 22,453
投資有価証券	635,000	635,000	0
その他固定資産合計	78,431,705	79,736,830	△ 1,305,125
固定資産合計	403,326,705	404,631,830	△ 1,305,125
<b>資産合計</b>	<b>599,255,940</b>	<b>595,714,061</b>	<b>3,541,879</b>
<b>II. 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	0	50,820	△ 50,820
預り金	23,451,131	24,232,105	△ 780,974
仮受金	93,110	93,110	0
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	469,500	449,200	20,300
流動負債合計	24,083,741	24,895,235	△ 811,494
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,065,200	2,731,600	2,333,600
固定負債合計	5,065,200	2,731,600	2,333,600
<b>負債合計</b>	<b>29,148,941</b>	<b>27,626,835</b>	<b>1,522,106</b>
<b>III. 正味財産の部</b>			
一般正味財産	570,106,999	568,087,226	2,019,773
(うち基本財産へ充当額)	(20,000,000)	(20,000,000)	( 0)
(うち特定資産へ充当額)	(304,895,000)	(304,895,000)	( 0)
<b>正味財産合計</b>	<b>570,106,999</b>	<b>568,087,226</b>	<b>2,019,773</b>
<b>負債及び正味財産合計</b>	<b>599,255,940</b>	<b>595,714,061</b>	<b>3,541,879</b>